



# 瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:v3setoga@edu.city.vokohama.jp

学校だより 9月号  
令和3年9月1日  
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校  
校長 松永 淳子  
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索

## 着実に

校長 松永 淳子

夏休み期間、瀬戸ヶ谷小学校の校庭ではせみが、元気よく鳴いていました。夏本番を感じさせる暑い日の連続でした。8月も終わりに近づき、その声も静かになってきました。その代わりに校庭の裏手の柿の木の実が少しずつ大きくなってきています。夏から秋に季節が変わろうと準備が進んでいます。

8月2日から緊急事態宣言が発出され、その後8月27日から31日まで臨時休業となり、子どもたちにとっては2年続けてのコロナ禍の夏休みになりました。当初の予定を変更するなど変化のあった夏休みとなったことでしょう。

夏休み明けの学校生活のスタートにつきましては、変更続きでご迷惑をおかけいたしました。本日より、学校生活が始まりました。分散登校とはなりましたが、校舎から子どもたちの声が聞こえてくるのは心地よいものです。しかし感染状況は落ち着きを見せません。この夏休みの間に子どもたちを取り巻く環境は変わり、爆発的な感染拡大が続いております。夏休み明けの学校教育活動についても、子どもたちの「命と健康」を第一に考え、今まで以上に感染防止対策を徹底して実施してまいります。日々の学習の進め方、校外学習、一人一台の端末の使用など様々な教育活動について見直しを図っております。詳しくは別紙をご確認ください。本日の集団登校を取りやめに致しましたのもその一つとなります。子どもたちにとっては登校時の交通安全に関わる大切な活動ではありますが、今までにない感染力をもつ変異株に対応していくために、密を避けることを重要視いたしました。地域委員の皆様には急な変更でご苦勞をおかけいたしました。それぞれの地点で子どもたちの登校を見守っていただきました。スポーツフェスティバルの時も感じましたが、役員の皆様を中心に保護者の皆様が子どもたちの教育活動に理解と協力を頂けることに感謝いたしております。ありがとうございます。このお力添えを子どもたちの成長に繋げていきたいと考えております。そのために日々子どもたちが登校し、友達や先生とふれあう時間を大切に、歩みを止めることなく前進していきたいと考えております。ご家庭でも引き続きお子さんの健康観察などへのご協力をお願いすると共に、保護者の皆様もお身体ご自愛ください。

さて、夏休みに入る前に子どもたちには、いくつか話をしました。その中の一つに「なりたい自分に近づけるよう目標をもって夏休みにしかできないことにチャレンジしてください。」ということを伝えました。どうだったでしょうか。結果も大切ですが、努力する過程はもっと大切です。失敗したり思い通りにならなかったりした時、自分で新たな方法を考え出し、そこに落ち着いて取り組むことは、簡単なことではありません。嫌になったり自暴自棄になったりすることもあります。しかしそこを乗り越えてこそ、真の成長が見えてきます。子どもたち一人では難しいことも、誰かが傍にいて声をかけてくれたら意外と容易く、一歩前に進むことができることもあります。焦らず腐らず、ポジティブに前進していく力を自分の中に備えていってほしいと願っています。このコロナ禍だからこそ、お互いを思いやり、みんなで声をかけあい、そんな力を育てていきたいと思えます。閉塞感漂うこの状況下、できないことを数えるのではなく、どうしたらできるようになるのかを考えられる子どもたちであってほしいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ子どもたちにお力添えをお願いいたします。